

【NEWS RELEASE】

2021年1月4日

各位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

三井住友フィナンシャルグループ 執行役社長 グループ CEO 年頭メッセージ要旨

本日、三井住友フィナンシャルグループ（以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）執行役社長 グループ CEO 太田 純は、グループ会社の役職員に対して以下の趣旨のメッセージを送ったのでお知らせします。

【要 旨】

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動が停滞し、グローバル経済の成長率が大恐慌以来の落ち込みとなる等、世界全体が大きな影響を受けた。皆には、感染の不安と戦いながら、金融インフラという社会的使命を果たすために、それぞれの持ち場で奮闘してもらった。

2021年は、社会全体が回復に向けて前進する一年になるだろう。そこで、皆に日頃から心掛け、実践してもらいたいことを2点申し上げる。

1点目は、「軸をぶらさず、中期経営計画の施策を着実に進めること」。コロナを受け、デジタル化の加速、環境への関心の高まり等がみられるが、我々の計画はこうしたトレンドを既に織り込んでおり、進むべき方向は変わらない。着実に業務に邁進し、計画に腰を据えて取り組んでほしい。

2点目は、「お客さまと真摯に向き合い、より良いサービスを提供すること」。コロナ影響により、今まで以上に深く、かつ多様化したお客さまの課題や悩みに対してソリューションを提供できれば、お客さまに満足していただける良い機会となる。活動がますます成果に結びつくチャンスと捉えて、お客さまのために何ができるかを徹底して考え、より良いサービスを提供してもらいたい。

社長に就任して以来、「カラを破る」というスローガンのもと、変革を進めてきた。その結果、現状に満足せず、常に新しいやり方を見つけていこうとする動きが浸透してきており、大変嬉しく、また頼もしく感じる。皆のこうした動きを後押しするため、社内SNSをスタートさせた。オープンな場で、自由に情報共有や意見交換をすることで、新たな発想や提案を生み出し、グループ全体を活性化してほしい。その先には、SMBCグループが競争に勝ち続けるとともに、我々一人ひとりが「夢」を実現できる未来が待っている。

今年の干支は、「辛丑（かのと・うし）」。

一説によると、辛は、辛い出来事を乗り越えて次のステージに移る年、丑は、協力して結びつきが強くなる年で、発展の前兆と言われる。SMBCグループも、連携を強化し、グループ一丸となって、更なる発展・成長に向けて力強く歩みを進めていきたい。

以 上